

青森県警交通指導課・弘前警察署へ「感謝状」を贈呈しました

～自動車販売整備業者らによる保険金詐欺事件に対して～

日本損害保険協会東北支部青森損保会（会長：塚田 義則・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社青森支店長）では、この度、保険金詐欺事件で犯人を検挙した青森県警交通指導課と弘前警察署へ感謝状を贈呈しました。

11月15日（水）に青森県損害保険防犯対策協議会総会の場で行われた贈呈式には、青森県交通部交通指導課の 工藤 寿行 課長と弘前警察署の 半澤 一人 署長が出席し、青森県損害保険防犯対策協議会の 塚田 義則 会長から、「粘り強い捜査により検挙され、損害保険事業の健全な運営に多大な貢献をいただいた」として感謝状が手渡されました。

本事件は、2022年1月に、保険会社から火災による休業補償の保険金をだまし取ったとして、今年1月に自動車販売整備業者が逮捕されたのを皮切りに、他の休業補償費やレッカー搬送費の不正請求も次々と発覚し、約203万円の被害総額となったものです。保険金請求を不審に思った損害保険会社からの相談を端緒に、青森県警交通指導課および弘前警察署が共同捜査を行い、4つの事件で合計延べ9名の被疑者逮捕に至りました。

工藤課長および半澤署長からは、保険会社の捜査への協力に感謝するとともに、疑義のある事案があれば遠慮なく連絡をもらいたいとコメントがありました。同協議会の塚田会長からは、保険金詐欺は巧妙・悪質化し、損保各社だけでは見抜くことが困難な事案も増えてきており、県警等関係機関の協力が必要であることから、引き続きの連携について依頼がありました。



両者への贈呈



集合写真

（右から塚田会長、工藤課長、半澤署長）

以上